

第18回市展「いが」ワークショップ

しよくぶつ

か

植物を描こう!

～ボタニカルアートに挑戦～



参加者
募集

小学生以上

は か
葉っぱや花の描き方がわかる!

か くさばな め
描いた草花の色の塗り方のコツがわかる!

しよくぶつ した かんさつりよく
植物に親しみながら観察力アップ!

[主催] 伊賀市・(公財)伊賀市文化都市協会

[後援] 伊賀市教育委員会



お申込みの詳細は裏面または
ホームページをご覧ください。

お問合せ:(公財)伊賀市文化都市協会 ☎(0595)22-0511

※本事業は第18回市展「いが」の出品料を使用して開催します。



(公財)伊賀市文化都市協会

募集要項

- 日程 3/19(日)
- 時間 13:30~15:30(終了予定)
- 場所 伊賀市文化会館
- 定員 15名
- 対象 小学生以上(伊賀市内在住・在学・在勤・出身の方)
- 講師 安藤 栄子(ボタニカルアーティスト・食器デザイナー)
- アシスタント 東 俊一(第18回市展「いが」運営委員)
富田 儀孝(第18回市展「いが」運営委員)
- 参加料 無料
- 服装 汚れてもよい服装

※画材・草花は主催者でご用意します。

- ご自身の画材(クレヨン・クレパス・水彩絵具・色えんぴつ等) 持込可
- ご自身が描きたい草花持込可

■お申込み方法

右の専用フォーム(QRコード)からお申込みください。

※専用フォームでのお申込みは2名(親子参加可)までとし、お一人につき一回とします。

WEB 申込締切：2/28(火)

※応募者多数により抽選となった場合は、当選された方のみハガキで連絡させていただきます。
なお、WEB 申込みが募集定員に達していない場合は、3/1(水)午前 9:00~3/19(日)12:00 まで電話(☎0595-22-0511)でのお申込みが可能です。



【講師】安藤 栄子 Eiko Ando

(ボタニカルアーティスト・食器デザイナー)

大手陶磁器メーカーの食器デザイナーとして、日本をはじめ海外のホテル・レストランの食器企画デザインを担当。その後、フリーランスの陶磁器デザイナーとして多数のデザインを手掛ける。ボタニカルアートの表現を取り入れた繊細で独創的な上絵付け作品をグループ展・個展などで発表。国立科学博物館主催の植物画コンクールや名古屋国際蘭展で入賞等多数の実績を活かし、ボタニカルアート教室講師を務めている。また、時代の移り変わりと共に、失われつつある名古屋絵付けの凸盛り技法を伝える活動をしている。

- ・ボタニカルアート講師
- ・ボタニカルアートはなびら会員
- ・厚生労働省認定1級陶磁器上絵付け技能士
- ・愛知県陶磁器技能士会会員
- ・中部デザイン協会会員



「ボタニカルアート」って？

ボタニカル(植物学)、アート(美術)の意で、植物をありのままに、かつ芸術的創造性と植物学的正確さを描いた絵のことです。古くは、薬草を見分ける為にギリシャや古代エジプトなどで図譜としてもちいられてきました。

大航海時代になり、ヨーロッパ諸国が世界各地を探検して、珍しい植物を求めていく中で植物学者と画家が協力して植物画が描かれるようになりました。写真がない時代に初めて見る植物への関心と、植物学的にも完成され、絵画として芸術性が優れていた為、ボタニカルアートとして発展していきました。

また、インテリアとしてボタニカルアートを室内に飾ることが、19世紀にはヨーロッパでは大いに流行しました。

日本では、シーボルトが日本画家の絵師達に日本固有の植物の絵を描かせました。

これは、「フロラ・ヤポニカ(日本植物誌)」としてヨーロッパ諸国で人気となりました。

近年では、絵画と植物学的な知性を併せ持つ芸術として、ボタニカルアートは一般的に知られるようになりました。

自宅の庭や道端の草花を手に取り観察してみると、色、形、香りに違いがあり、自然界の造形美の素晴らしさや、色彩の美しさに感動します。

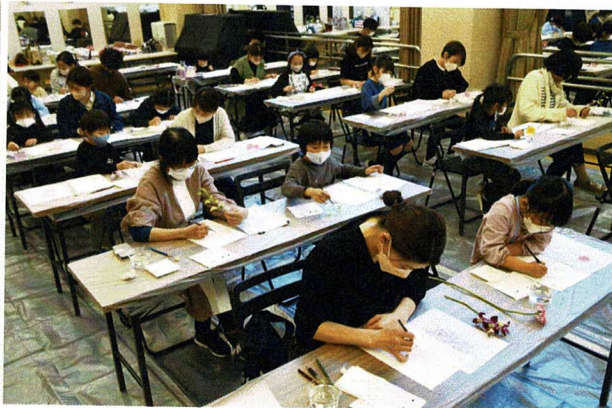
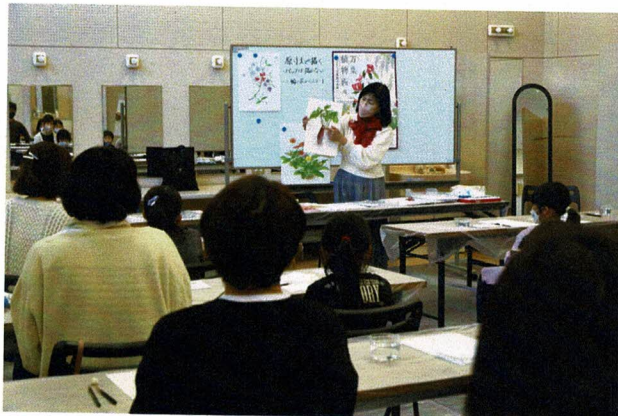
そして、モチーフとなる草花と対話しながら描いている時、たくましい生命力や新たなエネルギーが湧いてきます。



どうぞ、ボタニカルアートの世界をお楽しみくださいませ。

安藤 栄子

第18回市展「いが」ワークショップ 2023年3月19日（日）13:30～15:30 伊賀市文化会館 リハーサル室
植物を描こう！ ～ボタニカルアートに挑戦～



参加者：24名